

第33回 全国中学校バスケットボール大会

輝く瞳 燃える情熱 ~若人の夢 この北の大地に~

【試合結果】

男子		決勝トーナメント(1回戦)	
日時	平成15年8月 23日 (土)	12:10 ~	
会場	北海道立総合体育センター(きたえーる)	Dコート	第2試合
結果	鳥屋野	13 - 2	草加
	(新潟)	14 - 12	
	53	14 - 15	
		12 - 14	
主審	沢 教司 (北海道)	副審	中尾 寛 (岡山)

【個人トータル表】

鳥屋野(新潟)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	熊倉 祐人	25	6	3	1	0
5	大高 頌平					
6	相川 翔					
7	堀川 拓海	0	0	0	0	0
8	押見 幸一	0	0	0	0	3
9	土田 賢大	24	4	5	2	1
10	岡田 侑也	4	0	2	0	3
11	庭山 翔平	0	0	0	0	0
12	内藤 潤一	0	0	0	0	2
13	大滝 俊也	0	0	0	0	1
14	中川 佑哉					
15	花澤 佑太	0	0	0	0	0
16	伊藤 慎二					
17	西脇 宏輝					
18	高橋 駿平					
合計		53	10	10	3	10

草加(埼玉)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	秋田 建	18	1	5	5	3
5	加藤 達也	13	0	6	1	4
6	六馬 大和	6	0	2	2	0
7	佐藤 慶太	6	2	0	0	1
8	小金井 満	0	0	0	0	0
9	西村 淳					
10	田中 慎一					
11	安藤 千紘					
12	村上 雄斗					
13	林 剛士					
14	篠崎 宏太	0	0	0	0	2
15	伊藤 康平					
16	浅井 亮介					
17	本間 裕紀					
18	高葉 龍					
合計		43	3	13	8	10

【戦評】

平成8年度に優勝経験を持つ北信越ブロック代表新潟鳥屋野中と、予選リーグを接戦の末勝ち上がってきた関東ブロック代表の埼玉草加中とのベスト8をかけた対戦。熱戦が予想される。

1クォーター、鳥屋野中スリークォーター2-2-1ゾーンプレスからの2-3ゾーン。草加中ハーフマンツーマンでスタート。鳥屋野中#4秋田がジャンプシュートを決め2-13で終了。

2クォーター、草加中はディフェンスをハーフの2-1-2に変え、#5加藤のポストプレーを中心に10-16と反撃開始。しかし、鳥屋野中は落ち着いた試合運びを見せ、#4熊倉の三連続3Pで27-14と突き放して前半を終了。

3クォーター、鳥屋野中#9土田の速攻、3Pと連続得点で35-13と一気にスパート、草加中たまたまタイムアウト。その後、#7佐藤の連続3P、#6六馬のジャンプシュートが決まり、29-39と10点差に追い上げるが、終了直前鳥屋野中#4熊倉のバスケットカウントが決まり41-29と12点差のリードで終了。

4クォーター、鳥屋野中#9土田の24秒オーバータイム寸前のスカイプレーが決まるなどペースをつかみ、一気に50-31と突き放す。草加中も#4秋田のインナーセプトからのバスケットカウントや3Pで必死に追い上げるものの、鳥屋野中の終始安定したゲーム展開を崩し切れず43-53でゲーム終了。

敗れたとはいえ、草加中の高さを生かしたオフェンスは見事であった。鳥屋野中はリバウンドの徹底度が素晴らしく、チームスローガンの「心をこめて」が伝わってくる好チームで、上位進出を期待したい。

小笠原 輝幸(北広島緑陽)

【トーナメント戦績】

